

受験番号

学校教育領域

令和4年度  
筑波大学大学院 教育学学位プログラム 博士前期課程  
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 (10月実施)

## 社会人特別選抜 小論文

(10:00~12:00)

### 解答要領

次の事項に注意して解答しなさい。

1. 「解答はじめ」の合図があるまでは解答を始めてはいけません。
2. 「解答やめ」の合図があれば直ちに筆記用具を置いてください。合図の後も筆記用具を持っている場合には不正行為と見なします。
3. 小論文の問題用紙の枚数は [スクールリーダーシップ開発分野] が1枚, [英語教育分野] が4枚です。
4. [スクールリーダーシップ開発分野] [英語教育分野] のいずれかの分野を選択して解答してください。
5. 志望する分野及び解答する問題の番号を答案用紙の最初に記入してください  
(例: スクールリーダーシップ開発分野 問題1)。
6. 使用する答案用紙の枚数は, 各問いの指示に従ってください。指示がない場合は, 使用する枚数は任意とします。答案用紙のホッチキスは外さないでください。
7. 日本語で解答してください。

【 令和4年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程  
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

受験番号	領域名
------	-----

小論文（スクールリーダーシップ開発分野）

1枚のうち 1枚目

次の2つの問いに日本語で答えなさい。答案用紙の使用枚数の指定はありません。

問題 1.

子どもの貧困への対策が近年の教育政策の課題の1つとなっている。この課題の問題状況を述べたうえで、学校としてできること、できないことを論じなさい。

問題 2.

2000年頃から、学校に組織マネジメントの発想を取り入れるべきだという議論が高まり、それを契機として様々な施策が導入された。その例としていくつかの施策を紹介し、その意義や問題点について論じなさい。

【 令和4年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程  
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

受験番号	領域名
------	-----

小論文 (英語教育分野)

4枚のうち 1枚目

問題 1.

以下の文章の内容に基づいて, “incidental word learning” とは何か, これまでの研究でどのようなことが分かっているのかを答案用紙1枚以内で述べなさい。

(著作権法に基づき削除)

小論文 (英語教育分野)

4枚のうち 2枚目

(著作権法に基づき削除)

小論文 (英語教育分野)

4枚のうち 3枚目

(著作権法に基づき削除)

Mohamed, A. A. (2018). Exposure frequency in L2 reading: An eye-movement perspective of incidental vocabulary learning. *Studies in Second Language Acquisition*, 40(2), 269-293. (pp. 271-272より引用)

問題 2.

平成29年及び平成30年告示の小学校・中学校・高等学校の学習指導要領外国語編では、「思考力、判断力、表現力等」の育成に関わる目標の中に「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて」という言葉が共通して含まれている。この言葉をあなた自身の授業実践の中でどのように具現化するかについて、答案用紙2枚以内で述べなさい。なお、実践を想定する校種は問わないが、どの校種を想定したものであるかを明記すること。